

この度の東日本大震災におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に深くお悔やみを申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り致します。

奨学金 30万円 + 月々3万円 卒業まで応援します！

皆さんは、「親の
経済的支援を受けられなくなっ
て学費をどうしよう？」と悩んでいま
せんか。「学校を卒業して、かなえたい夢がある」と
いう若者を励まし、応援してチカラになりたいと思っ
ている大人はたくさんいます。カナエールはそんな大人たちと
皆さんをつなぐ「プラットフォーム」親の経済的支援が得られ
なくても、一歩前を出て「応援してください」と伝える勇気さえ
あれば道は開けます。カナエールは応援者とともに奨学金だけでなく、卒業までの継続支援やアドバイスができるサポート体制を準備しています。「Pay it forward」は、人から受けた厚意を次の人に回していく、という考え方です。目標に向かう若者を応援するのは大人の役割だと考えますから、遠慮は要りません。厚意を受けたなら、今度はあなたがそれを次の人に渡せばいいのです。逆境に負けず、自ら挑戦し、周りの協力を得て夢を実現していく姿は、同じ環境におかれた後輩たちにとって、最高の励ましとなり目標となります。夢をかなえるバトンを受け取り、次の人へまわして欲しい！バトンがつながり続けますように。それが「Pay it forward」カナエールの願いです。夢にむかってがんばる皆さんからのご応募を心よりお待ちしております。



岩手県の児童養護施設出身で看護師になる夢をかなえた23歳のハルカ。彼女の生活費や看護学校の学費の一部は、彼女が育った児童養護施設の職員をはじめとする有志30人が「ハルカの夢を支える奨学金」として、卒業するまでの3年間、毎月3万円を送り続けたのです。くじけそうになっても毎月届く30人のエールに励まされてきたハルカが、「今度は私が後輩を応援したい」と言います。沢山のエールがハルカの夢見るチカラを支え、育て、そして次の子どもにバトンが渡されようとしているとても素敵な物語。カナエールはそんなハルカの実話をヒントに生まれました。